

科目名	真言密教特殊講義 F			学期	後期	単位数	2	担当者	南昌宏
副題	空海『性霊集』を読む								
ナンバリング	M3-01-311	授業方法	講義	実務経験の有無			無	関連DP	1,2,4

授業の目的と概要

弘法大師空海の漢詩文集『遍照發揮性霊集』を精読することによって、空海の文体の特徴などを理解し、作者の心情について考える。あわせて、空海の記事を講解するために必要な中国古典・仏典に関する知識、漢文の基本的な文法、旧漢字・歴史的仮名遣いの読み書き、参考文献や辞書・パソコンの適切な利用方法などを広く身に付ける。また、日本と中国との文化について、現代社会と当時との相違について、比較検討することを通じて、独自の視点や疑問の持ち方を修得し、論理的な思考方法を身に付ける。同時に、中国古典・仏典が空海の知識の源泉であることを認識し、その文章作成の技法などについて理解を進めることにより、密教を学修・研究するための基礎的な能力を養う。

授業の到達目標

○旧漢字・歴史的仮名遣い・難解な語彙などの古典表現を講解できる。 ○漢文を自学自習するための技法を修得している。 ○空海の文体の特徴を説明できる。 ○「典故を踏む」という技法を説明できる。 ○作者の心情を推し量ることができる。

授業計画

1. 「納涼房望雲雷」①（全体を通読）
2. 「納涼房望雲雷」②（「雲蒸壑似浅」以下を読む）
3. 「納涼房望雲雷」③（「颯颯風満房」以下を読む）
4. 「納涼房望雲雷」④（「天光暗無色」以下を読む）
5. 「納涼房望雲雷」⑤（「魑魅媚殺人」以下を読む）
6. 「天長皇帝於大極殿嘔百僧零願文」①（全体を通読）
7. 「天長皇帝於大極殿嘔百僧零願文」②（「維天長四年」以下を読む）
8. 「天長皇帝於大極殿嘔百僧零願文」③（「侵割甲膚」以下を読む）
9. 「天長皇帝於大極殿嘔百僧零願文」④（「聞道仏心者」以下を読む）
10. 「天長皇帝於大極殿嘔百僧零願文」⑤（「比鐘谷而」以下を読む）
11. 「天長皇帝於大極殿嘔百僧零願文」⑥（「三界所以」以下を読む）
12. 「天長皇帝於大極殿嘔百僧零願文」⑦（「又夫国以民」以下を読む）
13. 「天長皇帝於大極殿嘔百僧零願文」⑧（「然今霖節」以下を読む）
14. 「天長皇帝於大極殿嘔百僧零願文」⑨（「其雨其雨」以下を読む）
15. 「天長皇帝於大極殿嘔百僧零願文」⑩（「祈之河伯」以下を読む）

準備学習（予習・復習）・時間

事前学修として次回の授業範囲を音読できるようにしておくこと（30分）、難解な語彙や漢文訓読などについて理解しておくこと（60分）。

テキスト

坂田光全『性霊集講義 平成新訂』（高野山出版社）のコピーを配布する。

運敞『遍照發揮性霊集便蒙』（『真言宗全書』42巻所収）のコピーを配布する。

参考書・参考資料等

小川環樹ほか『新字源』角川書店 1994年改訂

諸橋轍次『大漢和辞典』大修館書店 2000年修訂増補

『密教大辞典』法蔵館 昭和7年初版

水野弘元『仏教の基礎知識』2009年新版 など

学生に対する評価

最終試験レポート（50%）、小テスト（25%）、発表（25%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

- (C) テキストを正確に音読できる。
- (B) 未知の語彙・語法に気付き、調べることができる。
- (A) テキストの内容を理解し、説明できる。
- (S) テキストから問題点・疑問点を抽出できる。

課題に対するフィードバックの方法

○質問や意見については、授業内で対応する。 ○小テストについては、次の講義で解説をする。

その他

授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格とする。遅刻・早退は2分の1欠席と計算する。

受講生の予習・積極的参加が必要なアクティブ・ラーニングである。

実務経験のある教員が行う授業内容（どのような経験を持ち、どのような授業内容か）